

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677700173
法人名	有限会社 三木
事業所名	グループホームおおきな木 辻岳 雄川
所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南3612番地 (電話) 0994-24-2014
自己評価作成日	平成26年9月26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年10月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者さまや職員の笑顔が見られ、ご家族の皆さまが安心して任せられるような施設作りに努めています。また地域の方々が気軽に立ち寄ってもらえる様に心がけつなごりを大切にしています。地域の行事等にも参加し楽しい時間等も作ります。外出、ドライブ等を時間を作り出かける様にし楽しみを感じられる様なホーム作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・ホームは静かな住宅地に位置し、神社、医療機関、銀行、小学校、南大隅町役場、根占港などあり、利便性がよく佐多、鹿屋市へのアクセスも良い場所にある。

・以前から振興会への加入を希望していたが、今年に入り会の一員として迎えられ地域活動(清掃活動・地域行事への参加など)を積極的に実践している。今年、灯ろう作りに参加したり、ホームの行事に地域の方々をお誘いするなどしている。

・運営推進会議は、定例化され家族には交代で参加をもらっている。会議では、事業所の取り組みや活動報告、外部評価結果などが報告されメンバーから出された意見や要望などは、より良いケアやサービスの向上に繋げている。また、会議後、職員会議を開催し職員全員で会議内容を確認のうえ話し合っている。

・かかりつけ医は、本人や家族が望む医療機関になっており医療体制も構築され、随時の対応や他科受診などは職員が付き添ったり、家族に協力ももらい「受診ノート」を活用して医師などと情報の共有化を図っている。

・重度化や看取りについて「重度化や看取りに対する対応の指針」を定め、重度化に伴う意思確認書を作成し、その都度見極めをおこない、本人、家族の安心と納得が得られるように話し合いを繰り返して家族や医療機関、職員などの関係者と連携を図りながらチーム支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の行事参加や利用者の方々と毎日楽しく過ごし、優しく接し、優しい心を忘れないように心がけている。	理念は、共用スペースに掲示されている。10年位前に職員全員で見直しして“地域”というフレーズを加えた。また、理念とともに「職員の心構え」を実践し、笑顔を大切にされたケアに取り組み職員間で共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の夏祭りへ参加したりスポーツ少年団、町の中学生の福祉体験学習、慰問等を受け交流がうまくできている。	今年、振興会に加入することができて地域との関わりがより一層期待されているところである。地域とは、清掃活動、灯ろう作り、中学生の福祉体験学習、地域サッカーメンバーの訪問、ボランティアの受け入れ、買い物など外出時、行事参加による地域交流を盛んに進めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の行事を通じてホームの利用者との触れ合いを図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの活動内容の報告と会議での要望や提案等を検討しサービスの向上につなげています。	会議は定例化され、家族には交代で参加を依頼している。地域が広く民生委員さんも複数参加、地域消防団員の参加もあった。遠方の家族には、文書にて報告し、電話などでも意見を聞くように心がけている。また、必ず夕方職員会議を開き会議で出された意見を報告し話し合い、今後のケアやサービスに活かすようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>相談ごとや分からないこと等があるときは直接行き相談したり、電話等で連絡等を取っているようにしてくよにいます</p>	<p>市担当者との関係性もよく、日頃から連絡や相談などは電話や直接面談することが多い。日常生活自立支援事業利用者がおられ、社会福祉協議会の担当者とも連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日々の朝礼、職員会議等で身体拘束の知識を深め、拘束のない介護が出来るように取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束については、日頃からマニュアルで確認し、朝礼、職員会議、ケース検討会議などで事例検討している。玄関には、鈴を着けて注意喚起し鍵を掛けない自由な生活を支援している。外出傾向の方には、さりげなく寄り添ったり、職員で話し合い、利用者には午睡後、パジャマに更衣していただくなど外出時の発見に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員間で話し合い、意見交換することで虐待防止につなげている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>毎年社協の研修に参加し、自立支援事業や後見人制度の勉強会に参加している。また自立支援事業は必要とした利用者には活用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者が施設での生活に不安が無いように、十分な説明、納得いくまで説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時、居室担当者を中心に職員で意見や要望を伺っています</p>	<p>家族面会時は、本人、家族、職員とお茶のみなどして歓談し、ざっくばらんに意見や要望などが出せるよう雰囲気作りをしている。月1回家族には、近況報告を欠かさない。必要に応じて代表者、家族、担当職員を中心に四者面談することもある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営会議や職員会議の中で要望や意見を出す機会があり話し合いを実施しています。</p>	<p>代表者と職員との個人面談を必要に応じて実施して、職員から運営に関する意見を聞く機会を設けている。普段から管理者は職員会議などで話し合い、職員の意見を代表者に報告し、具体的には職員の体制については利用者一人に対し職員1人といった具合に手厚いケアが可能となった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の職員の要望、意見はその都度対応しやる気を失せないように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種 研修には積極的に参加できるようにし報告意見交換を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域での研修会に参加し同業者との意見交換、交流を図り質の向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>新しくなった生活環境での不安と心配を早く取り除ける様、声掛け、一人になる時間をなるべくなくして行けるように取り組んでいます。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の方が気軽に相談できる様に面会に来て下さった時等積極的に会話するように、心掛けています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所申込み等に来られた時から本人様の状況ご家族の状況等を聞きながら入所時に再度聞き取りを実施し、どのような支援が必要か見極めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人様のできることは、積極的に参加して頂き、共に楽しく生活できる様にしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月近況報告書を書いて送付しています。必要に応じては電話連絡をしたり面会時に話し合いを実施しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者さんが、帰宅したりはかまいりに行かれたり家族や知人の来訪が頻繁にあり、居室や応接室でゆっくり話ができる様に可能な支援を実施している。	家族と2カ月1回程度、温泉を楽しむ利用者、ドライブついでに買い物、自宅に戻り家族と過ごす方、職員と一緒に墓参り、知人、友人の来訪があったりと馴染みの場所や関係性が途切れることがないよう配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	昼寝の時間以外は、ほとんどホールにて過ごされていることから孤立しつつことなく関わりが持てている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居者さまが入院した時等は面会に行き励まし等をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の希望をくみ取りケース記録や業務日誌申し送りノートで共有して希望や意向に添えるようにしています。	本人にはさりげなく希望や要望を聞き取り、家族にも本人の気持ちを代弁してもらったりして意向の把握に努めている。また、ケース記録、業務日誌、申し送りノートで共有し、本人がどのように暮らしたいかなど理解するため思いや意向の共有化を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の一人一人のリズムを尊重して、その人に合わせた生活が送れるように支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人に興味の持てることを把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様とご家族の希望の沿って必要と思われる、計画を作成している。	居室担当職員を中心にして、アセスメントし、本人がより良く暮らすための課題やケアのあり方を職員全員で意見交換しカンファレンスし、本人、家族の意向を反映し、現状に即した介護計画になっている。モニタリングは、ケアの見直しなど3カ月または必要に応じて実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>業務日誌、申し送りノート等の記録実施、朝礼などで職員間の情報交換を実施している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況担当職員を中心に、はなしあいニーズに合ったサービスが提供できる様に話あっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>家族や知人、面会者の協力を貰いながら支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望を尊重して日常の状態を判断してかかりつけ医と相談を密にとりながら支援の提供できるようにしている。</p>	<p>本人が希望するかかりつけ医となっており、皮膚科、物忘れ外来や認知症専門医との面談など受診も家族に協力をもらいながらおこなっている。毎回、「受診ノート」を活用して、主治医などと情報の共有化を図り、家族への連絡もおこない安心につながっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在ホームには看護職員がいない状況であるがかかりつけ病院の看護師に報告しドクターからの指示を貰っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者様が入院した際、面会を行いながら病院関係者への相談、情報交換をしながらこの支援に生かせるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、家族へは終末期の看取りについて説明を行い状態が重度化した時は、再度家族と話し合い、医師に相談指示を受け、家族と今後の方針を確認し、ご本人にとって最良の支援が行えるようにしている。</p>	<p>看取りについては、マニュアル化され「重度化や看取りに対する対応の指針」を定め、入所時や段階に応じて十分な説明と同意をもらっている。辻岳では今年、8月に看取りを実施、雄川では、3月、7月に看取りを経験している。重度化した場合や看取りについては、ホームでできる最大のケアについて関係者間で話し合い、安心して納得した最期が迎えられるように、随時意思確認をおこなっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全職員パートを含み1回は救命士講習に参加している・年1回の消防署主催の講習会も参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災難、避難訓練を消防署立会いの下地元の自治会消防団との合同訓練も実施して協力体制も構築できている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施し、内1回は自主訓練である。訓練には、振興会長、職員家族などの協力体制もあり、今後は、実際に夜間での訓練、また、抜き打ちでの避難訓練も検討中である。避難の確認方法については、現在も職員間で話し合っているところであり、結論は出ていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人のプライバシーを確保し慎重な言葉かけを実施している。	年長者として敬い、馴れ合いにならないよう気をつけながら、鹿児島弁を使い、丁寧な言葉使いを心がけている。また、職員は勉強会、申し送りなどで誇りやプライバシーの確保について具体的に話し合うようにしており、管理者は職員一人ひとりに個別指導して、職員全員で取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の思いや希望を聞き、家族へも相談しながら実践できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせて体調等も考慮して生活ができる様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の好みや希望に添った衣類や髪形等も提供している。日中と夜のめりはりをつけるためにも寝間着と普段着の着替えもしっかりと実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を利用し、楽しい食事が出来るよう支援している。竹の子やつわの皮むき等利用者様と一緒に実施している。	献立は、調理専門スタッフが1ヵ月分ごと作成している。誕生会、敬老会などの行事食、ファミレス、ソーメン流しなど外食、夏場はホームの前でかき氷を楽しむなど季節感を取り入れている。ご近所から野菜などの差し入れが定期的にある。家庭菜園では、季節野菜を1年中収穫し食卓に上り、皮むきやテーブル拭きを手伝い下さる方もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の食事携帯、水分補給も本人様の嗜好に合わせ実施1日の水分量を把握し声掛けをしながら摂取してもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせ、できる人には声掛けしながら自分で実施してもらっている。出来ない方に対しては、うがい、歯磨き等を支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレの声掛けを実施寄り添い見守り、できる限りトイレでの排泄ができる様に支援している。	排泄チェック表や本人の様子を確認しながら、露骨にトイレ誘導するのではなく、言葉かけにもプライバシーに配慮した誘導などしている。なるだけトイレで排泄ができるようケアし、視覚障害の方には、鈴を活用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維のある物や乳製品の多い食事を摂ってもらい自然排便が出来るよう心がけている。それでも困難な時は薬に頼っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	気持ちよく入浴して頂くため体調確認し、気分に乗らない方は無理強いしないよう、楽しく入浴してもらっています。	入浴は、概ね午前中に支援しているが、その時々必要性に応じて入浴してもらうなど一人ひとりのタイミングなど図り、気持ちよく過ごしていただけるよう配慮している。利用者の中には、家族と一緒に近隣の温泉浴を楽しむ方もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日昼寝の時間を設け個々にて休んでもらっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの状況を全員で把握し症状に変化等があった時は医師の指示を貰いながら、全員で服薬管理を実施している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自分でできることは、本人様に実施してもらい、月の行事や地域に行事への参加をして楽しんで頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	レクリエーションや遠足等で気分転換をしていただいています。	外出は、年間行事計画を立て午前中に入浴を済ませ、利用者の体調や天候を考慮しながら、外出の支援をおこなっている。諏訪神社にて初詣、花見見物、ぶどう狩り、旅芸人興行見物、ドライブがてら買い物、通院がてらドライブといった具合で外出が日常的に実施されている。また、家族に協力をもらい自宅や墓参り、温泉や外食を楽しむなど外出を積極的に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々の金銭管理は、施設で行っているも、欲しい物等希望を聞き必要なものは買い物をしている。遠足等に出かけた時には少しだけ自分で買い物をしてもらっています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙いつでも書けるように支援しています、電話はいつでも、本人様が声を聴きたい時掛けられる様居室でも使用できるようになっています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者同士、職員と食事や会話また行事等楽しみ、季節の花々等鑑賞できるようにし喜んでいただいています。</p>	<p>玄関外に季節の花々を鉢やプランターに植えてある。共有スペースには、水槽でめだかが泳いでいる。また、個人ごとにアルバムが整備され、いつでも閲覧できる。ソファやテーブル、椅子、畳コーナーが設けられ思い思いに過ごせるよう配慮してある。壁には、行事写真、紙を丸めた作品、折り紙などが掲示されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者同士で会話を楽しまれたりし、一人になりたい時には、自室でゆっくりされています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の思いでの写真や絵、人形等を飾られたり、自宅から持参されたものを思い思いに飾られています。	それぞれのユニットで、住環境が異なるが、ベット以外は本人、家族と相談して持ち込まれた馴染みの物であり、家族写真、タンス、置物など持込んで居心地よく過ごせるよう工夫がしてある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様一人ひとりの状態におうじてベッド柵やポータブルトイレを設置工夫しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない